

2018年6月13日

国立民族学博物館 企画展

# 「アーミッシュ・キルトを訪ねて —そこに暮らし、そして世界に生きる人びと—

2018年6月21日(木)～9月18日(火)



子供用ベッドカバー(クリブキルト)

国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園 10-1)では、企画展「アーミッシュ・キルトを訪ねて—そこに暮らし、そして世界に生きる人びと」を2018年6月21日(木)から9月18日(火)まで開催する運びとなりました。

プレーン・ピープル(簡素な人びと)とも呼ばれるアーミッシュが無地の布をパッチワークし作るベッドカバーは、鮮やかな色合いと幾何学模様から生まれるデザインや細やかなステッチで20世紀後期に注目を集めました。特に、厳格に教会コミュニティを守ろうとするオールドオーダー・アーミッシュは、現在も馬車を使用し公共の電気を引かず、公教育の期間を制限しています。世界から孤立したように見える人びとは、どのように環境や周囲と交流し影響を与えてきたのでしょうか。本展示では、みんぱくコレクションを素材として、キルトに織りこまれた日々の暮らしや物語、キルトが結ぶ世界との交流を辿ります。

## アーミッシュとは

アーミッシュは、宗教改革の時代に信教と生活実践を問い直し、スイスやドイツなどを中心に繰り広げられたキリスト教再洗礼派の運動から生まれました。地域・国家や既存の教会に属するのではなく、聖書を読んで自らの意志で洗礼を受けた個人が共に生きることを願う人びとは、宗教的・世俗的迫害の中で北米に移動しました。

## 展覧会の見どころ

■ モダンアートとして注目されてきたアーミッシュ・キルトの世界を紹介

■ 変化の中にあるアーミッシュたちの生活をキルトや関係資料から考える

### ○資料点数 約 160 点

内訳：本館標本資料約 150 点、その他約 10 点

### ○展示構成

#### プロローグ

#### 第 1 部 再洗礼派アーミッシュ

- 1-1 北米への宗教移民アーミッシュ
- 1-2 社会の変化と新しいアーミッシュの登場
- 1-3 アーミッシュ・キルトへの注目

#### 第 2 部 アーミッシュの生活世界とキルト

- 2-1 自然と環境をうたう
- 2-2 日々の生活をつづる
- 2-3 アメリカン・キルトとアーミッシュ

#### 第 3 部 絆をつむぐ贈り物

- 3-1 結婚する人びとへ
- 3-2 子どもたちへ
- 3-3 旅立つ人びとへ

#### 第 4 部 アーミッシュ・キルトの<sup>いま</sup>現在

- 4-1 変化の中のアーミッシュ・キルト
- 4-2 コミュニティから世界を想う

#### エピローグ キルティング・ビー 一つづくケアの楽しみ

※作品の写真撮影は可能です。



無地の女兒用ワンピース



アーミッシュ・ドール(子ども用人形)

## 開催概要

展 示 名	企画展「アーミッシュ・キルトを訪ねて—そこに暮らし、そして世界に生きる人びと」
会 期	2018年6月21日(木)～9月18日(火)
会 場	国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園10-1)本館企画展示場
開館時間	10:00～17:00(入館は16:30まで)
休 館 日	水曜日
無料観覧日	9月15日(土)(本館展示、企画展)
観 覧 料	一般420円(350円)、高校・大学生250円(200円)、中学生以下無料 ※()は20名以上の団体料金/リピーターは団体料金を適用 ※本館展示もご覧いただけます
主 催	国立民族学博物館
協 力	ネブラスカ大学リンカーン校インターナショナルキルトスタディセンター&ミュージアム エリザベスタウン大学ヤング再洗礼派敬虔派研究センター ゴーシェン大学メノナイト歴史図書館 アメリカンキルトスタディグループ

## 実行委員長

鈴木 七美 (国立民族学博物館 グローバル現象研究部 教授)

専門は文化人類学・エイジング研究。

東北大学薬学部を卒業後、星薬科大学および財団法人相模中央化学研究所で研究員として新規機能性材料の開発に従事。エール大学で医療社会史を研究後、お茶の水女子大学で修士号(1992)、博士号(1996)を取得。1998年に第13回青山なを賞(女性史)を受賞(『出産の歴史人類学』1997)。

マギル大学文化人類学部客員助教授、京都文教大学教授(医療人類学・北アメリカ地域文化論)、放送大学(文化人類学'04)客員教授を経て、2007年より国立民族学博物館教授。



## 関連イベント

### みんなくゼミナール

「アーミッシュ・キルトを巡る旅—いくつもの人生物語へ」

**概 要** 無地の服を着て馬車を駆るキリスト教再洗礼派アーミッシュが端切れでつくるキルトは、贈り物や支援品として人びとをつないできました。キルトに織りこまれた生活世界とキルトが紡ぐ物語を訪ねます。

**会 場** 本館講堂

**日 時** 7月21日(土) 13:30～15:00(開場 13:00)

**講 師** 鈴木 七美(国立民族学博物館教授)

**定 員** 450名(先着順)

**参加方法** 申込不要、参加無料



母からの結婚祝い  
「日なたと日陰」キルト

## みんなくウィークエンド・サロンー研究者と話そう

「キルト・ストーリーが紡ぐ世界」

会 場 企画展示場  
日 時 6月24日(日) 14:30~15:30  
講 師 鈴木 七美(国立民族学博物館教授)  
参加方法 申込不要、要展示観覧券

## ワークショップ

「パッチワーク・キルトのある生活」

会 場 本館第3セミナー室、企画展示場  
日 時 7月22日(日)  
(午前の部)10:30~12:00(集合 10:20)  
(午後の部)14:00~15:30(集合 13:50)  
講 師 黒羽 志寿子(キルト作家)  
鈴木 七美(国立民族学博物館教授)  
対 象 小学5年生以上  
定 員 各20名  
参加方法 要事前申込(応募者多数の場合抽選/受付期間 6月  
21日(木)~7月2日(月))  
参加費 500円(別途要展示観覧券)

## みんなく夏休みこどもワークショップ

「キルト その世界の不思議を考えるーフィールドワークに挑戦！」

会 場 本館展示場  
日 時 7月29日(日) 10:30~16:00(集合 10:20)  
講 師 鈴木 七美(国立民族学博物館教授)  
対 象 小学4年生~6年生  
定 員 12名  
参加方法 要事前申込(先着順/6月21日応募開始)  
参加費 500円

## ギャラリートーク

会 場 本館企画展示場  
日 時 6月28日(木)、7月26日(木)、8月23日(木)、  
9月13日(木) 各日 14:00~  
講 師 鈴木 七美(国立民族学博物館教授)  
参加方法 申込不要、要展示観覧券



企画展「アーミッシュ・キルトを訪ねて  
—そこに暮らし、そして世界に生きる人びと」  
広報用画像リスト



【1】コーティング・バギーでドライブする  
若いオールドオーダー・アーミッシュ



【2】オールドオーダー・アーミッシュの家と納屋



【3】子供用ベッドカバー(クリブキルト)



【4】無地の女兒用ワンピース



【5】アーミッシュ・キルト：センターダイヤモンド



【6】アーミッシュ・キルト：バース



【7】裁縫セット



【8】アーミッシュ・ドール (子ども用人形)

これらの広報画像はデータにて提供可能です。

ご入り用の画像があれば、総務課広報係まで次頁申込用紙の内容をお知らせください。

# 企画展「アーミッシュ・キルトを訪ねて —そこに暮らし、そして世界に生きる人びと—」 広報用画像利用申込用紙

【メールでお申し込みの場合】 [koho@idc.minpaku.ac.jp](mailto:koho@idc.minpaku.ac.jp)

【FAXでお申し込みの場合】 FAX 番号: 06-6875-0401

## 【ご希望の画像番号】

--

## 【貴社・貴機関についてお知らせください。】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
ご住所 〒	E-mail
電話番号	FAX 番号
ご掲載・放映の予定日が決まっている場合	
年 月 日	

## 【プレゼント用招待券】（ご希望の場合はどちらかにチェックを入れてください）

3組6枚       5組10枚

※チケット発送先が上記所在地と異なる場合は、下記にご記入ください。

## 【広報に関するお願い】

### ■ 写真使用に関するお願い、注意事項

・クレジットには次のとおり記載してください。

【1】～【2】 国立民族学博物館提供

【3】～【8】 国立民族学博物館蔵

・写真（画像）のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。

・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

■ 本館の基本情報等の確認のため、メールまたはFAXにて、掲載記事、番組内容の原稿等を下記連絡先までお送り願います。

■ お手数ですが、掲載紙・誌または録画媒体を2部お送りください。